

## ボディーパーカッションをたのしもう！

音楽 第1学年

小松市立苗代小学校・教諭

### 1 事例の概要

本学級の子どもたちは音楽の時間をとても楽しんでおり、日常生活の中でも歌を歌ったり曲に合わせて踊ったり聞いたりして音楽に親しんでいる。低学年の指導の重点は、リズムに重点をおいた活動である。歌を歌う中で拍の流れを感じ取りながらリズムを正しく表現したり、またカスタネットなどの打楽器を用いてリズムフレーズを表現して楽しんだりできるような楽しい音楽活動を心がけて取り組んでいる。

本実践では、今までの学習を発展させて、よりまとまりのあるリズムフレーズをボディーパーカッションでつくって表現することをねらいとしている。様々な教材を表現、鑑賞することによって、楽しみながら拍の流れをつかみ、身体全体でつくって表現する活動を展開する。そして、友だちと互いに教えあう活動を行うことによって、多様な表現のおもしろさや、リズムを通してコミュニケーションする楽しさを感じ取らせる。

### 2 実践内容

#### (1) 題材の目標

- ・音楽にあわせて歌ったり、リズムを表現したりして遊んだりする活動を楽しむ。
- ・拍の流れを感じ取り、リズムの打ち方や身体表現を工夫する。
- ・拍の流れにのって歌ったり、身体表現をしたりすることができる。
- ・拍の流れやリズムパターンを感じ取って聴く。

#### (2) 指導上の工夫点

##### ① リズムに親しむ

四分音符・八分音符・四分休符のリズムを身につけるために、ゲーム感覚で身体表現を通して体感できるような工夫をする。子どもたちは、音楽に合わせて表現することをとても喜ぶ。そこで、曲に合わせた手拍子やリズムの模倣を取り入れ、身体全体で音楽を感じ取り、拍の流れやリズムにのって表現することの楽しさをたっぷり味わわせる。

また、リズム表現活動を既存の楽器で行うだけでなく、自分の身体で音を出すことで、身のまわりから聞こえてくるいろいろな音への関心を高めさせたいと考えた。

##### ② 友だちや自分のよさに気づく

グループで活動することは、音楽の授業はもとより他の教科でも行った経験がない。そこで、2人ペアでの活動や4人組での活動を多く取り入れ、友だちと一緒に合わせることのおもしろさを味わわせることにした。また、表現することを苦手とする子どもたちにも友だちと一緒に活動することでできた達成感を持たせるように設定した。

##### ③ 主体的な創作活動

子どもたちが「ボディーパーカッションって楽しい!」「もっとやりたい!」と思うように、自分でリズムカードを作ることにした。与えられたもので活動するというのではなく、自ら創作活動を行う意欲をもたせたいと思ったからである。

また、グループで活動をする前に同じような創作場面を2人で行うことで、スムーズにグループ活動に取り組めるように学習活動を展開した。グループ活動になると、教師がつきっきりでそのグループに支援することが困難なので、なるべく自分たちで課題を解決できるような工夫も行った。また、困ったときに対応できるように、あらかじめ想定される問題点を明確にしておき、

おたすけカードとして事前にヒントを与えるコーナーも設けて活動をスムーズにしていく。

**B-1 学習指導計画**

**B-2 評価の工夫**

**B-3 実践の内容**

**3 指導の実際**

児童の活動と意識の流れ	支援 (☆)・評価 (◎)
<p>○本時の課題をつかむ。</p> <p><b>リズムカードをくみあわせてボディパーカッションをつくらう！</b></p> <p>このまえじぶんでつくったカードをみんなでくみあわせてみよう！</p> <p>どんなリズムができるかな？</p> <p>どのカードつかおうかなあ？</p> <p>○グループに分かれて、リズムカードを組み合わせる。</p> <p>まずは、1人2個ずつカードを選んで組み合わせてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>リズムはいいかみんなで調べる。           <ul style="list-style-type: none"> <li>→タン・タタ・ウンで歌ったり、手拍子で演奏したりしてみる。</li> </ul> </li> <li>むずかしいところはないかな？           <ul style="list-style-type: none"> <li>→カードを変えてみよう！</li> </ul> </li> <li>足のカードは、足ぶみにしようかな？ひざにしようかな？太ももにしようかな？           <ul style="list-style-type: none"> <li>→足ぶみ・ひざ・太ももで試してみよう。</li> </ul> </li> <li>最後のポーズはどうしよう？</li> </ul>	<p>☆4拍子4小節の曲が作れるように、枠をあたえ組み合わせられるように準備する。</p> <p>☆2小節目の最後の拍は、おやすみカードを使うと演奏しやすいことを促す。</p> <p>◎拍の流れに合わせてリズム表現を工夫している。【音楽的な感受や表現の工夫】《活動の様子を観察》</p>

**C-1 学習指導案**

**C-2 ワークシート**

**C-3 参考作品**

**4 成果と課題**

(1) 成果

- ・ボディパーカッションづくりで学習したことは、子どもが主体的に活動しながら基礎・基本を身に付けることができ、とても効果的だった。休符を感じたり拍の流れを意識したり、今まで以上にリズムを感じる姿が見られた。
- ・子どもたちは、みんなで一緒にする活動や友だちに見てもらおうなどの活動を通して、友だちと関わり一緒に音楽を楽しむことができた。
- ・リズムカードを自分で作ることでボディパーカッションづくりに意欲的に取り組めた。また、1人から2人で、2人から4人でと段階的に活動を行ったことで、自分たちで活動を進めていくことがスムーズに行えた。
- ・毎時間、授業をビデオに撮って記録してきた。学習活動の中で子どもたちの様子や身体反応を見ることなどと合わせて、録画したものをふり返ってさらに評価できたのがよかった。また、子どもたちが自分たちの姿を見て自己評価や相互評価ができた点でもよかった。

(2) 課題

- ・低学年においてグループに分かれて活動する場面では、それぞれの活動全てを把握するのは困難があった。場の設定をうまくできるように今後気をつけていきたい。
- ・ワークシートは自己評価をするには不十分な点があったので、今後ワークシートの活用の仕方を考えていきたい。